

## 横浜観光プロモーションフォーラム



「国際観光コンベンション都市・横浜」の実現を目指し、  
来年度から推進体制を拡充、活動をより発展させます。

『オール横浜』体制のさらなる推進へ！

横浜の観光・コンベンションに携わる230を超える企業や団体が組織する「横浜観光プロモーションフォーラム(議長:原 範行 ホテルニューグランド会長)」は、平成15年度の創設から7年目を迎え、287件の事業誘発で180億円以上の事業誘発効果をもたらすなど、横浜の観光産業の発展と、横浜への集客増加に非常に大きな役割を果たしてきました。

去る8月28日(金)、平成21年度の第1回総会が開催され、平成22年度以降の活動についての方  
向性が、以下の通り決定しました。

### 方向性① 活動の継承・発展

- ・ 民間企業の力を活用するという事業スキームを継続し、「ポスト2009対策」をはじめとする今後の横浜を取り巻く観光課題の解決を目指します。
- ・ 「羽田空港再拡張・国際化」や「2010年のAPEC開催」などを見据え、インバウンド対策を強化するなど、今まで取り組むことの出来なかった分野やテーマへの事業拡大をはかります。

### 方向性② 推進体制の拡充

財団法人 横浜観光コンベンション・ビューローとの連携を強化し、「事業の安定性・継続性を確立」させるとともに、「情報発信力の向上」をはかります。

以上の2つの方向性に基づき、今後も、フォーラム事業の7年間に築かれた会員間のネットワークや、民間企業の力を活用し『オール横浜』体制で諸課題に取り組むという画期的な事業スキームを活かして、「国際観光コンベンション都市 横浜」の実現に寄与してまいります。

なお、詳細については、年度末に開催予定の第2回総会を経て決定いたします。

裏面あり



## ■認定事業の実績

認定事業とは？

横浜の来訪者を増加させる事業として申請を受け、会員の代表者から構成される審査委員の審査を経て認定したものであり、認定後はフォーラム会員、横浜市、(財)横浜観光コンベンションビューローにより支援を行っている事業

## 過去の認定状況（平成21年度に関しては途中経過）

	年度	認定数	総事業費
第1次	平成15年度	13	3億7千万円
	平成16年度	33	14億8千万円
	平成17年度	49	16億6千万円
第2次	平成18年度	56	23億3千万円
	平成19年度	46	37億9千万円
	平成20年度	43	42億7千万円
第2次延長	平成21年度 (※8月認定まで)	47	43億1千万円
合計		287	182億1千万円

## ■独自事業の実績

独自事業とは？

横浜のイメージアップや観光課題の解決、集客力増加を図るため、会員の代表者から構成される「企画委員会」の提案によるテーマに基づいて、多数の事業者が連携して実施している事業

これまでの取組みテーマ

平成16年度開始事業	「横濱アニバーサリープラン」
平成17年度開始事業	「横濱ウェディング」
平成18年度開始事業	夜の横浜活性化
平成21年度開始事業	羽田空港拡張を見据えた対策